

兵庫県産ゾウムシに関する文献目録(4)

故高橋寿郎氏遺稿集No. 3

兵庫昆虫同好会事務局編

前回に引き続き兵庫県産ゾウムシに関する文献を紹介する。今回はNo.96(1978)から193(1998)までで本稿はこれで完結する。

96. 的場 績(1978) 遠山雅夫氏採集の水ノ山及び扇ノ山産ヒゲナガゾウムシ目録

きべりはむし 6(1/2): 20-22.

水ノ山及び扇ノ山で採集されたヒゲナガゾウムシ14種類の記録。各種詳しいデータがついている。

キンヘリノミヒゲナガゾウムシ, マダラヒゲナガゾウムシ, イボタロウヒゲナガゾウムシ, ウスモンツツヒゲナガゾウムシ, キノコヒゲナガゾウムシ, エグリヒゲナガゾウムシ, *Directarius incisus*=*Giber*, カオジロヒゲナガゾウムシ, キマダラヒゲナガゾウムシ, コモンマダラヒゲナガゾウムシ, チャマダラヒゲナガゾウムシ, スネアカヒゲナガゾウムシ, *Ulorhinus funebris* Sharp=クロメナガヒゲナガゾウムシ, ナガアシヒゲナガゾウムシ=ナガアシヒゲナガゾウムシ.

97. 仲田元亮(1978) 能勢の昆虫 I.

B5, 405p. (自刊・単行本)

ヒゲナガゾウムシ科11種.

アカアシヒゲナガゾウムシ, マダラヒゲナガゾウムシ, ウスモンツツヒゲナガゾウムシ, セマルヒゲナガゾウムシ, シロヒゲナガゾウムシ, コモンヒゲナガゾウムシ, アカミヒゲナガゾウムシ, クロフヒゲナガゾウムシ, シリジロヒゲナガゾウムシ, キマダラヒゲナガゾウムシ, スネアカヒゲナガゾウムシ.

オトシブミ科(チョッキリゾウムシ科も含む)22種.

クロケシツブチョッキリ, マルムネチョッキリ, シリブトチョッキリ, コナライクビチョッキリ, ルリイクビチョッキリ, ベニホシハマキチョッキリ, ファウストハマキチョッキリ, ブドウハマキチョッキリ, チャイロチョッキリ, クチプトチョッキリ=クチナガチョッキリ, カシルリチョッキリ, ヒメケブカチョッキリ, クチナガチョッキリ, アシナガオトシブミ, ルイスアシナガオトシブミ=リュイスアシナガオトシブミ, カシルリオトシブミ, ハギルリオトシブミ, ゴマダラオトシブミ, オトシブミ, ウスモンオトシブミ, ヒメクロオトシブミ, ハギツルクビオトシブミ=エゴツルクビ

オトシブミ *Cycnotrachelus nitens*.

ゾウムシ科59種.

コヒゲボソゾウムシ, ヒラズネヒゲボソゾウムシ, コブヒゲボソゾウムシ, ハダカヒゲナガゾウムシ, ウスイロヒゲボソゾウムシ, ツチイロヒゲボソゾウムシ, カシワクチプトゾウムシ, クロホシクチプトゾウムシ, ケブカクチプトゾウムシ, ヒレルクチプトゾウムシ, オオクチプトゾウムシ, アオヒゲナガゾウムシ, シロコブゾウムシ, ヒメシロコブゾウムシ, コフチゾウムシ, ハスジカツオゾウムシ, カツオゾウムシ, ゴボウゾウムシ, オジロアシナガゾウムシ, キスジアシナガゾウムシ, ホホジロアシナガゾウムシ, カシアシナガゾウムシ, マツアナアキゾウムシ, ガロアナアキゾウムシ, オリーブアナアキゾウムシ, フライアナアキゾウムシ=クリアナアキゾウムシ, ホソアナアキゾウムシ, クロコブゾウムシ, チュウジョウアナアキゾウムシ, ウスモンカレキゾウムシ, ナカスジカレキゾウムシ, クロクチカクシゾウムシ, マダラアシゾウムシ, ウスモントゲトゲゾウムシ, ホソクチカクシゾウムシ, ナガクチカクシゾウムシ, マツノシラホシゾウムシ, ニセマツシラホシゾウムシ, マダラクチカクシゾウムシ, ハスジクチカクシゾウムシ, ヤマトヒラセクモゾウムシ=*Metichma* sp., ヒラセクモゾウムシ, ツツジトゲムネサルゾウムシ, アオバネサルゾウムシ, イチゴハナゾウムシ, クワヒメゾウムシ, ツヤケシヒメゾウムシ, ジュウジチビシギゾウムシ, レロフチビシギゾウムシ, モンキシギゾウムシ=アキグミシギゾウムシ, セダカシギゾウムシ, ツバキシギゾウムシ, エゴシギゾウムシ, ナツグミシギゾウムシ, クロタマゾウムシ, クロコバンゾウムシ, マダラノミゾウムシ, ヤドリノミゾウムシ, イネゾウムシ.

オサゾウムシ科4種.

オオゾウムシ, トホシオサゾウムシ, ココクゾウムシ, コクゾウムシ.

98. 高橋 匡(1978) 豊岡高等学校昆虫標本目録(第5報)

兵庫県立豊岡高等学校生物教室

次の追加記録種あり.

チョッキリゾウムシ科.

- ルリホソチョッキリ。
ゾウムシ科。
スグリゾウムシ, アトジロカレキゾウムシ, コナラシギゾウムシ。
99. Morimoto, K. The Family Anthribidae of Japan (Coleoptera), Part.1.
Esakia(12) : 17-47, 11f.A~R.f.
Notonenus wollastoni Sharp チビヒョウタンヒゲナガゾウムシ 1ex., Mt. Maya Kobe, 3.IX.1953, Y.Wada leg.
100. 堀田 久(1979) 淡路島産ゾウムシ類について (II).
Parnassius(20) : 22-23.
淡路島新記録種を含む13種のゾウムシが記録されている。
ヒゲナガゾウムシ科。
イボタロウヒゲナガゾウムシ。
オトシブミ科。
ヒメクロオトシブミ。
ゾウムシ科。
リンゴコフキゾウムシ, ケブカクチフトゾウムシ, カシワクチフトゾウムシ, マツトビゾウムシ, オジロアシナガゾウムシ, モンクチカクシゾウムシ, マツアナアキゾウムシ, ツツゾウムシ, ツバキシギゾウムシ, モンキシギゾウムシ, シロフチビシギゾウムシ=レロフチビシギゾウムシ。
101. 仲田元亮(1979) 「能勢の昆虫」その後(I).
きべりはむし 7(1) : 18-19.
クリシギゾウムシ1種のみ記録されている。
102. 高橋寿郎(1979) 藍那地区自然環境調査 "昆虫類" pp.26-33.
兵庫県自然保護協会鈴蘭支部刊. B5, 60p.
兵庫県から始めての記録と考えられる次の種が記録されている。
ヒメヒゲナガゾウムシ *Dissoleucas nodulosus* = *Gibber*, キボシヒゲナガゾウムシ, クチフトチョッキリ, ハンノキノミゾウムシ=カシワノミゾウムシ。
103. Morimoto, K.(1979) The Family Anthribidae of Japan (Coleoptera), Part.2.
Esakia(14) : 1-23, fig.1-8, A-V.
次の兵庫県産の記録がある。
p.4. *Platystomos sellatus* Roelofs シロヒゲナガゾウムシ Hiogo.
104. 仲田元亮(1979) 「能勢の昆虫」その後(2).
きべりはむし 7(2) : 16-28.
次のゾウムシ類の記録がある。
オトシブミ科。
アカクビナガオトシブミ。
ゾウムシ科。
キアシクチフトサルゾウムシ=アカアシクチフトサルゾウムシ, オビアカサルゾウムシ, メダカケブカクイゾウムシ, マツクチフトクイゾウムシ。
105. Oda, A.(1979) A Revisional Study on two Genera of Anthribidae, Tropiders and Gonotropsis, of Japan (Coleoptera).
Trans. Shikoku Ent. Soc. 14(3/4) : 109-126.
Troideres germanus Sharp, 1♂, Onzui Valley, 21.VI.1959, H.Ishida leg. の記録がある。本種は *Tropiders naevulus* Faust, 1887 キマダラヒゲナガゾウムシのことである。
106. 磯野昌弘(1979) 兵庫県浜坂産ゾウムシ科仮目録。
INSECT(岐阜大学生物科学研究会昆虫班誌) 4(1) : 13-18.
107. 岡田清隆(1981) 三熊山における松くい虫防除のための農薬空中散布による死亡落下昆虫類調査。
兵庫生物8(2) : 75-85.
3種のゾウムシ類が記録されている。クロボシヒゲナガゾウムシ *Ulorhinus aberrans*=クロボシヒゲナガゾウムシ *Phaulimia allerrans*, シロホシヒメゾウムシ=シラホシヒメゾウムシ, マツキボシゾウムシ。
108. 上田尚志(1981) 家島群島の昆虫(2).
きべりはむし9(1) : 9-18.
次のゾウムシ類が記録されている。
チョッキリゾウムシ科2種。
ブドウハマキチョッキリ, ハイイロチョッキリ。
オトシブミ科1種。
カシルリオトシブミ。
ゾウムシ科6種。
シロコブゾウムシ, ハスジカツオゾウムシ, マダラアシゾウムシ, オジロアシナガゾウムシ, イチゴハナゾウムシ, ジュウジチビシギゾウムシ。
オサゾウムシ科2種。
オオシロオビゾウムシ, オオゾウムシ。

109. 高橋 匡(1981) 但馬地方昆虫目録(予報第5報)

IRATSUME (5) : 46-58.

但馬地方のゾウムシ類, ヒゲナガゾウムシ科21種, オトシブミ科(チョッキリゾウムシ科を含む)43種, ミツギリゾウムシ科2種, ホソクチゾウムシ科5種, ゾウムシ科133種, オサゾウムシ科7種が産地とともに記録されている(種名省略).

110. 高橋寿郎(1982) 宍粟郡波賀町水谷の甲虫.

きべりはむし10(1) : 37-41.

次のゾウムシ類を記録している.
 オトシブミ科(チョッキリゾウムシ科を含む)5種.
 チャイロチョッキリ, カシルリオトシブミ, ゴマダラオトシブミ, セアカヒメオトシブミ, ヒメクロオトシブミ.
 ホソクチゾウムシ科1種.
 マメホソクチゾウムシ.
 ゾウムシ科9種.
 ハダカヒゲボソゾウムシ, ウスイロヒゲボソゾウムシ, シロコブゾウムシ, ヒメシロコブゾウムシ, コフキゾウムシ, オジロアシナガゾウムシ, タデサルゾウムシ, リンゴノミゾウムシ, *Rhamphus pulicarius*, チビデオゾウムシ.

111. 淡路自然研究保護連合会編 島の生きものたち(淡路の生物誌)

神戸新聞出版センター B6, 210p.

p.40-41. ヒメクロオトシブミのゆりかごが示されている.
 p.71. オオゾウムシが解説されている.

112. Morimoto, K.(1982) The Family Curculionidae of Japan I. Subfamily Hylobiinae

Esakia(19) : 51-121.

森本 桂博士による日本産ゾウムシの研究の第1報として Subfamily Hylobiinae (アナアキゾウムシ亜科)をまとめられたものである。かなりの学名の整理もあれば2新属, 11新種, 1新亜種の記載も含まれている。兵庫県産の記録は次の種である。
 p.75, Fig.14. *Dyscerus elongatus* (Roelofs) ホソアナアキゾウムシ Hyogo (Kobe).
 p.100, Fig.34;46E. *Kyliparus lewisii* (Roelofs) ルイスフトゾウムシ Hiogo (Kobe).
 p.113, Fig.42. *Seleuca chujoji* Voss チュウジョウアナアキゾウムシ Akasai, Shiso-gun, Hyogo.
 1♀, 3.VI.1979, Takahashi leg.

113. Morimoto, K.(1982) On the subfamily Magdalinae and Carciliinae of Japan (Coleoptera : Curculionidae).

Spec. Iss. Mem. Retir Emer. Prof. M. Chujo, 1982 : 153-164.

日本産ツツケイゾウムシ亜科 Madalinae, ツツゾウムシ亜科 Carciliinae の分類論文である。
 p.161. *Carcilia strigicollis* Roelofs ツツゾウムシ Hyogo Pref. Mt. Mayasan の記録がある.

114. 仲田元亮(1982) 増補改訂 能勢の昆虫 甲虫の部 下巻 A5, 508p.

(ref. p.411-498) (自刊)

多数のゾウムシ類の記録がある(種名省略).
 ヒゲナガゾウムシ科14種, オトシブミ科(チョッキリゾウムシ科も含む)24種, ゾウムシ科84種, アサゾウムシ科5種.

115. 河上仁之(1982) 猪名川生物目録, 昆虫地域研究いたみ(12) : 133-135.

猪名川の桑津橋から軍行橋付近で生物調査を行い, 昆虫33科87種を確認したとしてその目録を示された。
 その中でカツオゾウムシが記録されている.

116. 高橋寿郎(1983) ミカンヒゲナガゾウムシ神戸市内に産す

きべりはむし11(1) : 24-25.

神戸市烏原貯水池畔から記録。もっともこの種はササセマルヒゲナガゾウムシと同定すべきである(高橋, 1986).

117. 新家 勝(1983) ハスジカツオゾウムシ月刊むし(148) : 1.

西宮市武庫川堤防(16.V.1982). 写真による記録.

118. 江本健一(1983) ハナゾウムシ2種の分布記録

月刊むし(150) : 34.

コブハナゾウムシ *Tachypterellus dorsalis* Voss et Chujo の扇の山での記録(1ex., 22.V.1982, Toyama leg.).

119. 高橋寿郎(1983) オトシブミ

兵庫県大百科事典 上巻 : 411.

(神戸新聞出版センター)

特定の種についての解説でなく, オトシブミ類として兵庫県に見られるものを解説.

120. 高橋 匡(1983) 但馬地方昆虫目録(予報第5報)訂正.
IRATSUME(7): 22-23.
表題のように1981年高橋 匡氏が発表した但馬地方昆虫目録(予報第5報)のゾウムシ類についての場積氏からの指摘により、訂正しておられるがここでは詳細は省略する。
121. 森本 桂(1983) キクイゾウムシ類概説 II キクイゾウムシ亜科(1)
家屋害虫(17/18): 35-41.
ムシヒゲキクイゾウムシ *Hexarthrum brevicorne* Wollaston, Hiogo, Type の図説がある。
122. 遠山雅夫(1984) 甲虫に現れた付属肢異常 - 触角と脚の相同部位について -
月刊むし(159): 17-24.
クロシギゾウムシ *Curculio distinguendus* (♂, Mt. Ohya, Nose, Hyogo 8.V.1976, M.Arimoto leg.)
触角と脚の同列転換の例が紹介されている。
123. 高橋寿郎(1984) 淡路島より新に記録される甲虫について
Parnassius(30): 1-7.
三原郡慶野松原においてマツノクチプトキクイゾウムシ *Stenoscelis gracilitarsis* Wollaston を記録。
124. 森本 桂(1984) 日本から記載又は記録されてその後とれないゾウムシ類(2)
北九州の昆虫30(3): 197-200, pl.15.
p.198. *Rhynchophorus vulneratus* (Panzer) Kobe 1♂, October, 1908 V.Kühne (Wattanapongsiri, 1966, Dept. Agr., Sci. Bull. Thailand 1(1): 181) の記録がある。分布はタイ, マレーシア, フィリピン, ニューギニアの種で、神戸には偶然持ち込まれたものであろうとされている。
125. 妹尾俊男(1984) カオスジヒゲナガゾウムシの分布並びに形態的特徴について。
越佐昆虫同好会々報(57): 13-14.
兵庫県産についての言及あり。
126. 桐谷圭治(1984) 移住する昆虫(7) 定着から土着へ
インセクタリアム21(9): 248-262.
イネミズゾウムシの兵庫県での分布記録。
127. 木村三郎(1984) 広峰・増位山系の昆虫
てんとうむし(9): 53-58.
ゾウムシ類が次のように記録されている。和名のみで学名やデータは全くない(種名は省略)。
ゾウムシ科(ヒゲナガゾウムシ科も含まれている) 19種。オトシブミ科(チョッキリゾウムシ科も含む) 5種。
128. 神戸の自然研究グループ(1984) 神戸の社寺を歩く(神戸の自然13).
神戸市立教育研究所刊
特定の場所ではなく、また特定の種を示したものでなくオトシブミとして示され、そのゆりかごが写真で示されている。
129. 細川浩司(1984) 兵庫県赤西におけるクロツツミツギリゾウムシの記録。
月刊むし(166): 10.
宍粟郡赤西溪谷 8exs., 30.X.1983(材より)
130. 河上仁之(1984) 伊丹市昆虫目録(1)
伊丹の自然(1): 22-32(ref.p.32)
オトシブミ科1種, チョッキリゾウムシ科1種, ソウムシ科7種, オサゾウムシ科2種の記録あり。
131. 高橋寿郎(1984) 加東郡東条町の昆虫相。
東条地区開発に伴う環境影響評価現地報告書 pp.201-205.
(住宅・都市整備公団関西支社)
オトシブミ科(チョッキリゾウムシ科を含む)6種, ヒゲナガゾウムシ科1種, ソウムシ科17種の記録あり。
132. 諸橋公徳(1985) 侵入を警戒する昆虫とイネミズゾウムシとキンケクチプトゾウムシ
昆虫と自然20(1): 29-33.
具体的産地は示されていないが、両種とも兵庫県に得られるとある。
133. 高橋寿郎(1985) イワキオチバゾウムシ(?)
神戸市内に産す。
きべりはむし13(1): 23-25.
Otibazo morimoto Nakane イワキオチバゾウムシかとしたが、まだ種名未決定種である。神戸市鳥原産(1♀, 5.IV.1983)(標本は九大保管)。
134. 奥谷禎一(1985) 大岡山自然環境調査報告 B5, 50p. (ref.p.5, 42-44)(園田学園)
城崎郡日高町(豊岡駅の西南西直線距離9.5km)に

位置する大岡山周辺の調査で次のようなゾウムシ類の記録がある。

ヒゲナガゾウムシ科1種, オトシブミ科(チョッキリゾウムシ科も含む)7種, ゾウムシ科3種, オサゾウムシ科1種。

135. 森本 桂(1985) キクイゾウムシ類概説 III
キクイゾウムシ亜科(2)。

家屋害虫(23・24) : 19-28.

兵庫県の標本で記載された *Exodema sublutosan* Wollaston, 1873 が解説されている。

136. 高橋寿郎・蜂谷幸雄(1985) 神戸市北区押部
谷木津地域の昆虫相(仮称) 押部谷パブリック
ゴルフクラブ建設事業動物調査報告書

B5, 71p. (ref. p.20-43)

(パシフィックコンサルタンツK.K.刊)

オトシブミ科9種, チョッキリゾウムシ科1種, ゾウムシ科9種の記録がある。

137. Morimoto, K & Miyakawa, S. (1985) Weevil
Fauna of the Izu Islands, Japan (Coleoptera).

Mushi 50(3) : 19-84, 34figs.

表題のように伊豆諸島のゾウムシ相であるが、
の中でp.71-74, fig.29 に新種として記載された。

Microcryptorhynchus nipponicus Morimoto et Miyakawa のパラタイプに Mt. Maya, Kobe 1♀, 3.VIII. 1953, S. Shibanaï leg. が含まれている。

138. 妹尾俊男(1985) 対馬におけるチビクチボン
ヒゲナガゾウムシの記録。

月刊むし(178) : 5.

兵庫の記録も含まれている。

139. Sawada, Y & Morimoto, K. (1985) A revision
of the genus *Euops* Schoenherr (Coleoptera :
Atteblabidae) from Japan, Korea and Taiwan.

J. Fac. Agr. Kyushu Univ., 30(2/3) : 175-195.

日本, 朝鮮, 台湾産のルリオトシブミ属の分類学的総説であるが、その中で次の兵庫県産の記録がある。

p.184-185, ケシルリオトシブミ, Hyogo.

p.190-191, ハギルリオトシブミ, Hyogo.

p.194, コブルリオトシブミ, Hyogo.

140. Morimoto, K. (1985) Supplement to the
Check-List of the Family Rhynchophoridae
(Coleoptera) of Japan, with Descriptions of a

New genus and four new species.

ESAKIA(23) : 67-76.

表題のように日本産オサゾウムシ科に属する1新
属4新種の記載であるが、この中で新種として記載
された。

Dryophthorus konishii Morimoto pp.67-69, Fig.1 の
Paratype に1♀, 15.VII.1980, H. Nishida leg., Takara-
zuka, Hyogo Pref. が含まれている。

141. 高橋寿郎(1986) 兵庫県のヒゲナガゾウムシ
(1) 兵庫生物9(2) : 111-114.

兵庫県産ヒゲナガゾウムシ科20種の記録。

142. Morimoto, K. (1986) The Family Curculio-
nidae of Japan. V. Tribe Camporhinini.

Ent. Pap. pres. Kurosawa, Tokyo, pp.321-
334.

次の兵庫県産の記録がある。

p.323-325. *Camptorhinus mangiferae* Marshall, 1925
オオカレキクチカクシゾウムシ

Kumochi-cho, Kobe City, 1♀, 3.VII.1953, S. Shi-
banai leg.

p.328-329, Figs.5,7E *Camptorhinus kurosawai*
Morimoto

クロサワクチカクシゾウムシ

Paratype 1♂, Gyonohara, Oogo-cho, Kobe City VI.
1964 emerged from twig of chestnut tree, Y. Mu-
rakami leg.

143. 高橋寿郎(1986) ナガフトヒゲナガゾウムシ
を美濃郡吉川町で採集。

IRATSUME(10) : 46-47.

144. 森 和夫(1986) ヒラズゲンセイを神戸市で採
集

きべりはむし14(2) : 36.

この報文の中で神戸市北区山田町藍那でイネミズ
ゾウムシ7exs.採集の記録がある(7.VII.1985)。

145. 高橋寿郎(1986) イネミズゾウムシの兵庫県
下での産地。

きべりはむし14(2) : 42.

146. 河上仁之(1986) 伊丹市昆虫目録(3)

伊丹の自然(3) : 21-26.

イヌビワシギゾウムシ, カキゾウムシが記録され
ている。

147. 高橋寿郎(1987) 兵庫県の高ゲナガゾウムシ(2)
兵庫生物9(3) : 153-156.
兵庫県産ヒゲナガゾウムシ20種を県下の詳しい産地とともに記録。
148. 金沢 至(1987) シナサワグルミのノミゾウムシ(2)
Nature Study 33(3) : 34-36.
シナサワグルミノミゾウムシの西宮市高須町の記録(1986年8月)がある。ちなみにこの報告の(1)はNature Study 31(11) : 129-132,1985.
149. 堀田 久(1987) 洲本市由良小学校付近の昆虫類。
Parnassius(32) : 12-15.
オジロアシナガゾウムシ(p.15)の記録がある。
150. 佐藤邦夫(1988) 西脇市でナガフトヒゲナガゾウムシを採集。
IRATSUME(12) : 82.
151. 森本 桂(1988) キクイゾウムシ類概説(II)
-キクイゾウムシ亜科-
家屋害虫(2) : 157-166.
p.160,163. *Exodema sublutosa* Wollaston
兵庫県産の標本で記載されたもの。その後の記録はない。
p.164. *Maerorhyncholus crassiuscurus* Wollaston
(Hiogo) マツオオキクイゾウムシ
152. Okamoto, M.(1988) Interactions between *Camellia japonica* and its seed predator *Curculiocalamelliae*
I. Observations on morphology, phenology and oviposition behaviors in Kinki District, Japan.
Bull. Osaka Mus. Nat. Hist. (43) : 15-37, 1pl.
西宮市鷲林寺で観察された材料が使用されている(ツバキシギゾウムシ)。
153. 高橋寿郎(1989) 神戸市内で見られなくなった甲虫・神戸市内にやってきた甲虫・ふえた甲虫。鳥と自然(52) : 8-15.
イネミズゾウムシについて解説。
154. 新家 勝(1989) 宝塚大橋の甲虫(その4)
きべりはむし17(2) : 36-38.
次のゾウムシ類が記録されている。シリジロヒゲナガゾウムシ, ヤサイゾウムシ, マツアナアキゾウムシ, ホソアナアキゾウムシ, マダラアシゾウムシ, オオゾウムシ。
155. 高橋寿郎(1989) 兵庫県における数種タマゾウムシの産地
きべりはむし17(2) : 43-45.
シロオビタマゾウムシ, ハイイロタマゾウムシ, アカアシゾウムシ, クロタマゾウムシ, クロオビシロタマゾウムシの県下における分布状況を解説。
156. 高橋寿郎(1989) シロスジタコゾウムシ神戸市内で採集
きべりはむし17(2) : 47.
神戸市西区伊川谷前開 1ex.,21.VIII.1988, 1ex.,28.IX.1988.
157. 藤富正昭(1990) 淡路へきた虫(1) アルファルファタコゾウムシ
Parnassius(36) : 1.
158. 新家 勝(1990) 武庫川の昆虫目録
伊丹の自然(8) : 1-15.
次のゾウムシの記録がある。
オジロアシナガゾウムシ, ハスジカツオゾウムシ, マダラアシゾウムシ, オオゾウムシ。
159. 西本 裕(1992) 甲子園浜の昆虫
兵庫生物10(3) : 附8-10.
ツツチビヒゲナガゾウムシの記録がある。分布からして再同定の要ありと考える。
160. 東 正雄(1992) 宝塚の生物誌(3) イネミズゾウムシ
宝塚の自然(6) : 3-4.
宝塚市西谷西部での分布を中心として。
161. 新家 勝(1992) 尼崎西南部の昆虫(その6)
きべりはむし20(1) : 16-19.
次のゾウムシ類の記録がある。
オオクチプトゾウムシ, ハスジカツオゾウムシ, イチゴハナゾウムシ, オオゾウムシ。
162. 沢田佳久(1992) ヒメクロオトシブミとセアカヒメオトシブミをめぐる問題点
昆虫と自然27(7) : 15-20.
兵庫県産についての言及あり(セアカヒメオトシ

ブミの神戸市谷上産の記録).

163. 真野育三(1992) 夏期研修会(笠形山)報告.

兵庫生物ニュース(9): 47.

次のゾウムシ類の記録あり.

シロヒゲナガゾウムシ, オオゾウムシ.

164. 沢田和宏(1992) 神戸市の冬の海岸で採集した甲虫

きべりはむし20(2): 48-49.

トビイロヒョウタンゾウムシを須磨海岸で採集
3exs., 25.II.1992.

165. 大野正男(1992) 日本産主要動物の種別知見総覧(27) オオシロオビゾウムシ(1)

長崎県生物学会誌(41): 55-68.

兵庫県産オオシロオビゾウムシの記録文献を含む.

166. 楠井善久(1992) 沼島の甲虫採集記録.

南紀生物34(2): 103-104.

次の記録がある.

カシルリオトシブミ, オオゾウムシ, トホシオサゾウムシ.

167. 河上仁之(1993) 武庫川河原の昆虫・昭和40年代の昆陽池の昆虫

伊丹の自然第1号: 127-129.

具体的にはハスジカツオゾウムシしか出ていない.

168. 高橋寿郎(1993) オオタコゾウムシの散歩

きべりはむし21(1): 31-32.

神戸市内での産出状況について解説.

169. 佐藤邦夫(1993) ナガフトヒゲナガゾウムシについて

IRATSUME(17): 79-80.

西脇市での記録である.

170. 河上仁之(1993) 伊丹の自然第2巻

-多様な生物の世界-

P.153にイネミズゾウムシの記録がある.

171. 沢田佳久(1993) 宝塚の昆虫 IV 甲虫目(II)

B5, 168p. (ref.p.177-212)

(宝塚市教育委員会刊)

宝塚のコメツキダマシ科からオサゾウムシ科までの38科461種が記録されている. 各種ごとに写真で示され, 形態, 生態, 詳しい記録がある.

ゾウムシ類は担当沢田佳久博士で, ヒゲナガゾウムシ科16種, オトシブミ科(チョッキリゾウムシ科も含む)17種, ゾウムシ科47種, オサゾウムシ科4種が記録されている.

ヒゲナガゾウムシ科

アカアシヒゲナガゾウムシ, キノコヒゲナガゾウムシ, ウスモンツツヒゲナガゾウムシ, シロヒゲナガゾウムシ, セマルヒゲナガゾウムシ, ナガフトヒゲナガゾウムシ, マダラフトヒゲナガゾウムシ, シリジロヒゲナガゾウムシ, アカミヒゲナガゾウムシ, キマダラヒゲナガゾウムシ, クロフヒゲナガゾウムシ, スネアカヒゲナガゾウムシ, コモンヒメヒゲナガゾウムシ, クロホシメナガヒゲナガゾウムシ, ネプトヒゲナガゾウムシ, ナガアシヒゲナガゾウムシ.

オトシブミ科(チョッキリゾウムシ科も含む)

オトシブミ, ヒメクロオトシブミ, ウスモンオトシブミ, エゴツルクビオトシブミ, ゴマダラオトシブミ, アカクビナガオトシブミ, ヒゲナガオトシブミ, ハギルリオトシブミ, カシルリオトシブミ, アシナガオトシブミ, クロケシツブチョッキリ, コクロケシツブチョッキリ, ブドウハマキチョッキリ, チャイロチョッキリ, クチナガチョッキリ, モモチョッキリ, ミヤマイクビチョッキリ, コナライクビチョッキリ.

ゾウムシ科

ヒラズネヒゲボソゾウムシ, トゲアシゾウムシ, カシワクチブトゾウムシ, ツンブトクチブトゾウムシ, シロコブゾウムシ, スグリゾウムシ, マツトビゾウムシ, ケナガスグリゾウムシ, オビモンヒョウタンゾウムシ, コフキゾウムシ, ヤサイゾウムシ, ゴボウゾウムシ, ハスジカツオゾウムシ, ホホジロアシナガゾウムシ, オジロアシナガゾウムシ, イネゾウムシ, クロタマゾウムシ, イチゴハナゾウムシ, ユアサハナゾウムシ, ツバキシギゾウムシ, セダカシギゾウムシ, コナラシギゾウムシ, ナツグミシギゾウムシ, クヌギシギゾウムシ, クリシギゾウムシ, エゾヒメゾウムシ, チャイロヒメゾウムシ, ツツジトゲムネサルゾウムシ, キイチゴトゲサルゾウムシ, マツキボシゾウムシ, クロキボシゾウムシ, ウスモンカレキゾウムシ, ナカスジカレキゾウムシ, コクロアナアキゾウムシ, ホソアナアキゾウムシ, クリアアナアキゾウムシ, ガロアナアキゾウムシ, オリブアナアキゾウムシ, マツアナアキゾウムシ, アラムネクチカクシゾウムシ, ハイイロトゲトゲゾウムシ, マダラアシゾウムシ, アシナガオニゾウムシ, アラハダクチカクシゾウムシ, ニセマツノシラホシゾウムシ

- シ, チャバネキクイゾウムシ, マツオオキクイゾウムシ.
オサゾウムシ科
アトボシキクイサビゾウムシ, オオゾウムシ, トホシオサゾウムシ, ササラコクゾウムシ.
172. Y.Sawada(1993) A Systematic Study of the Family Rhynchitidae of Japan (Coleoptera, Curculionidae)
Human and Nature (2) : 1-93.
表題のように日本産チョッキリゾウムシ科の分類学的研究論文であり, 12新種1新記録種の記載も含まれている。
兵庫県産の3種の検視標本が含まれている(兵庫県産新種のものはない)。
p.61. *Involvulus (Involvulus) plumbleus* (Roelofs, 1874) クチナガチョッキリ
1male, Maya Hyogo Pref., 3.IX.1953, K.Morimoto leg.
p.79. *Deporaus (Hypodeporaus) minimus* Kono, 1928 チビイクビチョッキリ
4male, 1female, Yokoyuki Vall. Oya Hyogo Pref., 24.VI.1984, Y.Sawada leg.
p.86-87. *Paradeporaus depressus* (Faust, 1882) ヤドカリチョッキリ
2female (male?), 1female, Akazai Vall. Hyogo Pref., 6.V.1984, N.Nishida leg.
173. 高橋寿郎(1993) ヒトクチャタケに集まる甲虫 III
きべりはむし21(1) : 6-9.
西宮市船坂の松に出来ていたヒトクチャタケからマツオオキクイゾウムシを採集。
174. K.Morimoto(1994) Notes on Orchid Weevils in Japan, with Description of a New Species (Coleoptera : Curculionoidea)
Trans. Shikoku Ent. Soc. 20(3/4) : 233-241.
ランを加害するヒメゾウムシの1種の新種記載で Holotype は兵庫県産とあるだけで何処産か示されていないが, Paratype の中には三木産2♂2♀が含まれている。
p.236-241. *Orchidophilus ran* Morimoto
Holotype Male Hyogo Pref. XI.11.1979, K.Fujimoto leg. (attained from bulb of an orchid)
Paratype 2males & 2females Miki City Hyogo Pref. VIII.1976, T.Adachi leg.
on *Cymbidium* sp. imported from Taiwan three years ago.
175. O'Brien, C.W., I.S.Askevold and K.Morimoto Systematics and evolution of weevils of the genus *Bagous* Germer (Coleoptera : Curculionidae II)
Esakia (34) : 1-73.
カギアシゾウムシ属の分類学的研究で, 兵庫県産2新種を含む3種が記録されている。
p.32-33, Figs.15-16, 45, 48.
Bagous bipunctatus (Kono, 1934)
non-Paratype G.Lewis leg. Kobe (1.BMNH).
p.35-38, Figs.17-18, 46, 53.
Bagous proprius O'Brien & Morimoto, 1994
Kobe, G.Lewis leg.
p.42-44, Figs.21-22, 37, 52, 55.
Bagous buckinghami O'Brein & Morimoto, 1994
Hyogo Pref. Kakogawa City M.Suzuki 21.X.1921., Heiso, Yamada-ike 3.Aug.1992.
Hyogo Pref. Kakogawa City (nr.Kobe)
Kanki-cho, Batoh-ike 5.Aug.1992.
176. H.Kojima & K.Morimoto(1994) Taxonomic Study of the Subfamily Anthonominae from Japan (Coleoptera, Curculionidae)
Esakia (34) : 147-186.
ハナゾウムシ亜科の分類学的再検討である。兵庫県産は次の種の記録がある。
p.155-157. *Anthonomus bisignifer* Schenkling イチゴハナゾウムシ
検視標本に兵庫が入っている。
177. 永幡嘉之(1994) 但馬における甲虫数種の採集記録
IRATSUME (18) : 56-57.
ミツギリゾウムシ 美方郡浜坂町観音山, 温泉町飯野, 村岡町本谷奥, 香住町土生。
ナガフトヒゲナガゾウムシ 美方郡村岡町長坂, 本谷奥。
178. 小田中 健(1994) 宝塚の甲虫(補遺)
宝塚の昆虫 VII : 337-370.
宝塚の甲虫は「宝塚の昆虫II, IV」に記録され, 806種がまとめられていたが, 今回その補遺として78種が追加されている。ゾウムシ類は3科4種であるが, ゾウムシ科の1種とオサゾウムシ科の1種は, 兵庫県からは初めての記録になると考えられる。
ヒゲナガゾウムシ科

イボタロウヒゲナガゾウムシ。
 ゾウムシ科
 クロサワシギゾウムシ(兵庫県初記録), アカナガ
 クチカクシゾウムシ。
 オサゾウムシ科
 シバオサゾウムシ(兵庫県初記録)。

179. 高橋寿郎(1994) オオタコゾウムシ神戸市北
 区藍那にも産す
 きべりはむし22(1): 21-22.

180. 建設省河川治水課監修 財団法人リバーフロン
 ト整備センター編集(1994)
 平成4年度河川水辺の国勢調査年鑑
 陸上昆虫類等調査編 B5, 1328pp. (山海堂・
 東京)

本書は平成4年度に国が直轄で管理している全国
 の109の1級河川のうち48水系で陸上昆虫類調査を
 実施した。今回平成4年度から平成5年度に調査が
 継続している河川を除く42水系について、調査結果
 のとりまとめを行ったものである。調査に当たった
 人達がどのレベルの人たちであるのか、
 同定はどのような方がやられたのか等々明確にされ
 てなく、学名は一切使用されず和名だけの羅列(採
 集データも全くない)になっている点や、注目種の
 解説、昆虫相の解説等もほとんどない。したがって、
 この記録を無条件に受け入れるのには若干抵抗を感
 じる。もう少し責任ある報告書としてまとめてほし
 かった。

兵庫県からは猪名川、藻川、加古川、揖保川流域の
 調査が行われた。

猪名川、藻川

平成4年度の現地調査は夏季(7月16日~8月29
 日),秋季(10月13日~10月17日),春季(平成5年5月15
 日~5月26日)の3回。

マメゾウムシ科 1種。

アズキマメゾウムシ。

オトシブミ科 1種。

クロケシツブチョッキリ。

ゾウムシ科 9種。

シロコブゾウムシ, カツオゾウムシ, ハスジカッ
 オゾウムシ, オジロアシナガゾウムシ, エゾヒメ
 ゾウムシ, タデサルゾウムシ, ダイコンサルゾウ
 ムシ, カナムグラサルゾウムシ, フタキボシゾウ
 ムシ。

加古川

加古川における平成4年度の現地調査は、夏季(6
 月26日~6月28日),秋季(10月1日~10月9日)の3回,

本川4地点において実施された。

マメゾウムシ科 1種。

イクビマメゾウムシ。

オトシブミ科 1種。

クロケシツブチョッキリ。

ゾウムシ科 8種。

シロコブゾウムシ, コフキゾウムシ, ヤサイゾウ
 ムシ, ハスジカツオゾウムシ, カツオゾウムシ, ム
 モンノミゾウムシ, ダイコンサルゾウムシ, タデ
 サルゾウムシ。

揖保川

平成4年度の現地調査は春季(6月27日~6月29
 日),夏季(8月3日~8月6日), 秋季(10月3日~10月6
 日)の3回, 本川5地点において実施された。

ヒゲナガゾウムシ科 1種。

ナガフトヒゲナガゾウムシ。

オトシブミ科 2種。

クロケシツブチョッキリ, *Deporaus* sp.

ゾウムシ科 8種。

シロコブゾウムシ, コフキゾウムシ, カツオゾウ
 ムシ, オジロアシナガゾウムシ, *Dorytomus* sp., イ
 チゴハナゾウムシ, フタキボシゾウムシ, ゾウム
 シ科sp.

181. K.Morimoto & S.Miyakawa(1995) The
 Family Curculionidae of Japan VIII. Subfamily
 Acicnemidinae

Esakia (35): 17-62.

Acicnemidinae 亜科ゾウムシの分類学的論文であ
 る。兵庫県産の種として次のような記録がある。

p.21-22. *Trachodes subfasciatus* Voss,1957

Hyogo (Mt.Mayasan)

p.31-32. *Acinemis albofasciata* (Ter-Minayan,1953)

Hyogo (Akazaki)=Akazai?

p.35-36. *Acinemis palliata* Pascoe,1872

Hyogo (Mt.Maya)

p.36-37. *Acinemis suturalis* Roelofs,1875

Kobe (Mt.Maya)

182. 大貝秀雄・相馬明直・広畑政巳・相坂耕作
 (1995) 生島樹林昆虫調査

遊蟲千年(2): 37-43.

p.41. ヒサゴクチカクシゾウムシ *Simulatacalles*

simulator

ヒラセノミゾウムシ *Rhynchaenus dorsoplana-*
tus

ハマベクイゾウムシ *Dryotrbus mimeticus?*

183. 相坂耕作(1995) 波賀町上野地区の昆虫類
遊蟲千年(2) : 83-104.
- p.102. カシアシナガゾウムシ *Meiysolobus piceus*
オオクチフトゾウムシ *Macrocorymus variabilis*
カシワクチフトゾウムシ *Myllocerus griseus*
184. 新家 勝(1995) オオタコゾウムシの採集記録
(宝塚市内)
きべりはむし23(1) : 31.
185. 新家 勝(1995) トゲハラヒラセクモゾウムシ
の採集記録(西宮市内)
きべりはむし23(1) : 31.
186. 永幡嘉之(1995) ナガフトヒゲナガゾウムシ
の記録2例
IRATSUME (19) : 20-21.
三木市大村, 養父郡関宮町出合での記録.
187. 林 靖彦ほか(1995) 雨石山甲虫リスト
1989年度雨石山に於ける甲虫相調査報告書
KASUGA(大阪甲虫同好会連絡誌)No.11 :
1-25.
多紀郡篠山町(現篠山市)及び京都府瑞穂町にわた
る雨石山で, 1989年調査採集された甲虫類のリスト
(調査員11名)で, 甲虫433種が記録され, ゾウムシ類
は次のように記録されている(*印は県下初記録種).
ヒゲナガゾウムシ科 11種.
キノコヒゲナガゾウムシ, ウスモンツツヒゲナガ
ゾウムシ, シロヒゲナガゾウムシ, カオジロヒゲ
ナガゾウムシ, キマダラヒゲナガゾウムシ, クロ
フヒゲナガゾウムシ, シリジロメナガヒゲナガゾ
ウムシ, ナガフシヒゲナガゾウムシ, スネアカヒ
ゲナガゾウムシ, ヨリメオビモンヒゲナガゾウム
シ*, エゴヒゲナガゾウムシ*.
オトシブミ科 9種.
ファウストハマキチョッキリ, チャイロチョッキ
リ, ヒメケブカチョッキリ, ゴマダラオトシブミ,
ヒメクロオトシブミ, ウスアカオトシブミ, アカ
クビナガオトシブミ, カシルリオトシブミ, ハギ
ツルクビオトシブミ.
ゾウムシ科 12種.
シロコブゾウムシ, コブヒゲボソゾウ, リンゴコ
フキゾウ, ヒラズネヒゲボソゾウ, ウスモンカレ
キゾウ, マダラカレキゾウ, ナカスジカレキゾウ,
アトジロカレキゾウ, マツキボシゾウ, ツバキシ
ギゾウ, ダルマカレキゾウ, チャバネキクイゾウ.
188. 藤宮正昭(1995) 私版 淡路の昆虫リスト(2)
Parnassius(42) : 1-5.
淡路産ゾウムシ類として次の種の記録がある.
アルファルファタコゾウムシ 内膳
イネゾウムシ 志筑
イネミズゾウムシ 柄本
オジロアシナガゾウムシ 内膳
シロコブゾウムシ 由良
スグリゾウムシ 飯屋
ツバキシギゾウムシ 東山寺
マダラアシゾウムシ 厚浜
マツキボシゾウムシ 厚浜
モモチョッキリゾウムシ 久留麻, 八木
ヤサイゾウムシ 志筑, 北阿万
189. 近藤伸一(1996) ナガフトヒゲナガゾウムシ
を川西市黒川で採集
きべりはむし24(2) : 50.
川西市黒川 1♀, 13.VIII.1996, 近藤採集
190. 相馬明直(1997) 数種類の甲虫の記録
てんとうむし(11) : 84.
モンケシツブチョッキリ(坂の谷林道), クロツツ
ホソミツギリゾウムシ(坂の谷林道), シロカレキゾ
ウムシ(赤西), ムラカミカレキゾウムシ(坂の谷林
道), ワモントゲゾウムシ(三濃山), キボシクチカク
シゾウムシ(坂の谷林道, 大屋町横行溪谷), オオシ
ロオビゾウムシ(姫路市青山)の記録がある.
191. 高橋寿郎(1997) 稲畑憲昭氏採集 兵庫県下
産甲虫類若干の記録
きべりはむし25(2) : 60-61.
神戸市灘区篠原祖母野山(六甲学院の上), 長峰山
入口付近でササコクゾウムシとコササコクゾウムシ
を採集とあるが, このコササコクゾウムシはササコ
クゾウムシの誤りとのこと(きべりはむしVol.26, No.
2, p.13, 1998).
192. 沢田佳久(1998) オオタコゾウムシの定着
人と自然の博物館編「六甲山系」 pp.26-27.
193. 沢田佳久(1998) 近畿のオオタコゾウ
昆虫と自然34(6) : 32-34.
兵庫県下の分布状況について詳しく解説.